

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		憩いの水辺創出				整理番号	583		枝番号				
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221010		連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	570		
係名 施設整備係					上位施策名					No			
予算事業名 憩いの水辺創出					コード	60100		水辺とみどりの保全創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)流域の居住者や利用者				(1) 地方自治法第281条 (2) 河川法第16条 (3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)区域において、人が水に触れ、憩うことのできる水辺環境を創出する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民生活にやすらぎや潤いを与え、生活活力の増進を図る。								
	活動指標名(式) (1) 河川内湧水整備箇所 (2) 護岸緑化整備延長				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 河川内湧水施設整備率 = (河川内湧水整備箇所 / 河川内湧水整備対象箇所) × 100 (2) 護岸緑化整備率 = (護岸緑化整備延長(累計) / 目標護岸緑化整備延長) × 100								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		箇所	1	2	0	0						
	活動指標(2)		m	0	0	485	485	685	881	55.1			
	成果指標(1)		%	50	100	0	0						
	成果指標(2)		%	0	0	55	55	78	100	55.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,203	9,189	18,904	18,377	11,314	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度は、3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)全域の概況調査に基づく補修計画策定及び河川緑化工事等を行った。				
	(内)投資的経費等		千円	415	28	44	38	23					
	(内)委託費		千円	4,788	9,161	18,860	18,339	11,291					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.35	0.35	0.60	0.65	0.97					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,148	3,185	5,436	5,889			8,788		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +		千円	8,351	12,374	24,340	24,266	20,102					
	単位あたりコスト(-)÷		円	7,936,000	6,173,000								
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円			12,700	12,180			6,200		
特定財源計 +		千円	0	0	12,700	12,180	6,200						
差引:一般財源 -		千円	8,351	12,374	11,640	12,086	13,902						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)				
			委託料(河川補修計画策定委託)				1	式	12,180				
			工事請負費(河川緑化工事)				1	式	6,159				
			需要費				1	式	38				
			その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%		活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	97.2
		ほぼ計画どおり執行した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度予算は河川機能の保全・充実を図るため、区内3河川において、河川補修計画策定及び親水施設整備の河川緑化工事等を実施した。18年度は、経年劣化に伴う護岸の損傷や変状の著しい箇所において、詳細調査を行い今後の事業実施の方向性を見出す。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	河川沿いの空間を親水性のある散歩道として整備を行った「親水プロムナードの整備」事業を盛り込んだ13年度からの新規事業であり、13年度は研究・調査を行い、14年度は整備計画の策定を行った。15・16年度は前記整備計画に基づき、河川内湧水施設整備を各1箇所行った。17年度においては、3河川全域の河川施設に係る現況調査を実施し、実態把握を行うとともに、今後の補修全般に係る計画策定により進むべき方向を導き出した。また、親水施設整備として、河川緑化等の整備を実施した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	河川について、治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として住民に潤いを与え、様々な生物の多様な生息・生息環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されている。みどりや水の資源環境を大切にすることを区民の意識の高まりを考慮しつつ、水と身近に親しめる環境づくりを積極的に推進することが期待されている。					
	今後の予測	水辺は、貴重な水とみどりの空間として地域社会に潤いを与えるとともに、まちの景観形成や余暇の有効活用などにおいて、重要な役割を果たしている。特に最近では、まちづくりと一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となっている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:水辺空間をよりみどりや水に親しめる環境に移行することは、失われつつある自然環境の保全・創造に大きく貢献し、区民の自然を大切にすることをより高めていくとともに生活活力の増進が図れる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:設計・施工にあたり、工法やコスト削減を考慮するため、ある程度の効果の向上が図れる。					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:工法やコスト削減について検討を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:環境づくりにおいて、居住者や利用者を限定することはできないため、受益者負担は不相当である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:定期的に工法やコスト削減に関する検討を重ね、改善に努めている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	今後の具体的な取り組み:事業の性質上、施行にあたっての指示・確認は区自らが行う工事請負・委託形式が適切と考える。従って、NPO・ボランティア・市民活動団体や社団法人・財団法人等の公益法人への協働は予定していない。なお、事業量に対する工事請負費・委託料は既に業務量の50%以上に達している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 まちづくりと一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となっているため、具体的な事業計画に向けて検討を行う。また、整備については工法やコスト削減について検討することが重要である。						
19年度方針	(2) 理由 河川機能の保全・充実を図るため、親水施設整備(護岸・河床緑化等)を実施するとともに、緊急的に補修を要する護岸箇所において詳細設計を行う。なお、財源確保のため、東京都・特別区事務処理特例交付金の導入を図る。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの情報発信				整理番号	632		枝番号						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	621				
係名					みどりの計画係					上位施策名		No			
予算事業名					みどりを育てる					コード		63900			
										水辺とみどりの保全創出		12			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条								
	すべての区民						(2)								
							(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				みどりの新聞「みどりと人」の発行、緑化パンフレット、緑化副読本などの様々な印刷物の発行を通して、地域緑化の普及啓発を図る。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の地域緑化への関心を高め、「区民が創る『みどりの都市』杉並」の実現を目指す。			
活動指標名(式)				(1) みどりの新聞閲覧率 = 町会加入世帯数 ÷ 区世帯数 (2) 緑化副読本配布率 = (配布 + 販売) ÷ 印刷部数								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) みどりのボランティア杉並参加者数 (2) (代)花咲かせ隊活動団体数			
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%					
					計画	実績	計画		22年度						
指標	活動指標(1)		%	57	57	57	57	57							
	活動指標(2)		%	97	97	100	98	98							
	成果指標(1)		人	80	112	125	126	150	150	84.0					
	成果指標(2)		団体	65	82	90	91	100	100	91.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,530	5,442	4,617	4,274	5,013	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0							
	(内)委託費		千円	0	886	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,598	3,640	3,624	3,624	3,624						
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	8,128	9,082	8,241	7,898	8,637							
	単位あたりコスト(-)÷		円	142,596	159,333	144,579	138,561	151,526							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	8,128	9,082	8,241	7,898	8,637								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)						
		みどりの新聞の発行					5	回	2,769						
		緑化副読本					3,600	部	1,094						
		緑化事業パンフレット					4,000	部	411						
		その他 ()							0						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	98.0	17年度予算執行率%	92.6
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	緑化事業パンフレットとして、みどりの基金のポスター・チラシの発行を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	みどりの新聞については、町会を通しての回覧だけでなく、区のホームページにも掲載している。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初の区の独自の編集から区民との協働による発行を行っている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	発行に携わっているみどりのボランティアを含めて、ボランティア自身の情報発信の場の拡大を求める声と一方では行政の緻密な情報を求める声がある。				
	今後の予測	より多くの情報をより効果的に発信するために、編集方針を絞っての発行を検討する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: みどりに関するボランティア自身の情報発信の場として期待は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: より多くの情報を発信して、情報当たりのコストを下げることは可能である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民向けの普及・啓発の情報発信であり、その内容についても無償のボランティア活動によるものが大きな比率を占めている。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 可能性の検討はインターネットによる配信であるが、すべての区民を対象とするとその情報を見れず不公平になる。現在はホームページに全文を掲載している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: みどりのボランティア杉並の活動の一環として行っている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの施策については、都市化の進行とともに様々な要望が出ると思われる。これに対応するために情報の発信は施策の基礎として継続する必要がある。		
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 情報の発信に当たっては、その効果をあげるために質の高いものが要求される。			
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	現在の協働によりながら、より質の高い情報の発信を進める。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金の活用				整理番号	633		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	622	
係名					みどりの計画係		上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱 (3) 杉並区みどりの基金緑化活動助成金交付要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区民の緑化活動への助成 緑化活動を行う人材育成に關すること 民有の樹木保全に關すること みどりの普及啓発に關すること その他みどりの保全・創出に關すること		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 緑化活動を行う人材の育成を始めとする緑の保全および緑化の推進を図る。				
	活動指標名(式)				(1) 活動助成予定件数 (2) みどりのボランティア参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 活動助成応募件数(団体) (2) 助成団体構成員数				
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	4	4	10	0	10	10	0.0	
	活動指標(2)		人	100	88	150	0	150			
	成果指標(1)		件	20	4	10	0	10	10	0.0	
	成果指標(2)		人	100	100	150	0	150			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	129	98	950	0	840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,698	2,730	2,718	2,718			2,718
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	2,827	2,828	3,668	2,718	3,558			
	単位あたりコスト(-)÷		円	706,750	707,000	366,800		355,800			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,827	2,828	3,668	2,718	3,558				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		みどりの基金の活用の検討									
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	0.0	活動指標(2)の17年度達成率%	0.0	17年度予算執行率%	0.0
		みどりの基金の活用については助成額が活動費の1/2で、上限が50,000円という制約の中では申し込みがなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ボランティアの負担軽減と内容の充実の要望に対応するため、基金内容の検討を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度よりの事業であるが、15年度が4団体、16年度が4団体と応募する団体が少ない。17年度は応募は行わず、制度の検討に当たった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	基金の活用について、初期の段階では主な目標について人材の育成をあげている。助成を受けやすい制度にするべきであるとの要望は多い。					
	今後の予測	助成のあり方を検討し、杉並区のみどりづくりに関心のある人の支えとなる制度づくりが求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を支える基礎的な制度である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 助成について現在の半額助成では活動するボランティアにとって魅力がない。 理由または具体的内容: 緑化活動に貢献するボランティア活動については、補助対象経費の全額を補助するような制度の改正が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民が行う区での緑化活動での受益者は区である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 緑化活動の中身によっては助成からボランティア団体などの有償契約を行うことによって自立したボランティア団体(NPO)となり、区の緑化活動の推進を図ることも視野に入れる必要がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: みどりの基金の助成については、補助対象と助成率の変更が必要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの基金の助成についてはボランティア個人や団体の育成について対象を絞り、自立した団体については行政のパートナーとして契約などに基づく区内の緑化等への参画促す仕組みづくりを検討する。また、基金の募金の活性化を促進するため、基金による植樹活動など目に見える活用制度も検討する必要がある。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事務手続きなどのコストに反映する作業の効率化が求められる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 引き続き18年度に、みどりの基金の助成のあり方について検討を行い、新たなみどりの基金の助成のあり方を定める。また、高円寺地区の「みどりのベルトづくり」において、高円寺駅前広場をまちの顔として緑化する際に、「みどりの基金によるシンボルツリー」の植樹などを実施し、みどりの基金の募金活動の活性化を図る。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの講座の開催				整理番号	634		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	623	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				広報すぎなみなどで参加者を募集し、区内の施設や公園などを会場に緑化に関する講座を開催する。						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 講座開催数(コマ数) (2) 募集人員						
				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 講座を通して、区民のみどりに関する意識や知識を高め、「区民が創る『みどりの都市』杉並」の実現を図る。							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 参加人数 (2) 参加率 = 参加人数 ÷ 募集人員 × 100							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		回	7	4	20	7	20	20	35.0	
	活動指標(2)		人	336	200	1,000	208	1,000	1,000	20.8	
	成果指標(1)		人	200	126	1,000	162	1,000	1,000	16.2	
	成果指標(2)		%	60	63	100	78	100	100	77.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	366	100	745	325	705	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,598	2,730	2,718	2,718	2,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	3,964	2,830	3,463	3,043	3,423			
	単位あたりコスト(-)÷		円	566,286	707,500	173,150	434,714	171,150			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	3,964	2,830	3,463	3,043	3,423				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		みどりの講座講師謝礼					18	人	181		
		その他 ()							144		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	35.0	活動指標(2)の17年度達成率%	20.8	17年度予算執行率%	43.6
執行体制の未整備により口座数が伸びなかった。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
すぎなみ地域大学との連携でみどりの協働コース7コマを行う予定である。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	みどりの施策に関する区民の関心は高く、様々な要望が多い。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近なみどりづくりに関する区民の要望は多い。				
	今後の予測	計画的、系統的に講座を開催し、みどりに関心のある区民の緑化活動の増加を目指す。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由: 具体的に日々の緑化活動に結びつく講座を開催することで区民の緑化活動の増加を促す。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: 緑化活動を行う区民との協働でみどりの講座を開催することを検討する。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)		理由または具体的内容: 参加者に対する実費の徴収			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)		理由または具体的内容: みどりのボランティアなどとの協働で行うことで負担の軽減を図る。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題: みどりのボランティアなどと協働で開催する。			
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現行執行体制の不足のために十分講座を実施できていないが、今後は区民の参画を推し進めみどりの講座の活性化を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 質の高い講座の開催についてボランティアなどと十分に協議する。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 支出の負担増をなくして区民参画により、みどりの講座の活性化を図る。		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのイベントの開催				整理番号	635		枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	624	
係名					みどりの係			上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条					
							(2)					
							(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
みどりのボランティア杉並や区内造園事業者などとの協働により、みどりに親しむイベントを開催する。					みどりのボランティアや事業者の活動などを通して、区民に対して区の緑化施策に対する理解と協力を得る。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) イベント開催数					(1) 来場者数							
(2) イベント参加受入れ予定数					(2) 出展イベント数							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	回	1	1	1	1	1	100.0				
	活動指標(2)	人	200	200	200	200	200					
	成果指標(1)	人	200	500	500	600	600					
	成果指標(2)	件	6	18	18	24	24					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	86	85	85	100	115	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0					
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,598	1,820	1,812	1,812		1,812			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	3,684	1,905	1,897	1,912	1,927					
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,684,000	1,905,000	1,897,000	1,912,000	1,927,000					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		0			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	3,684	1,905	1,897	1,912	1,927					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	みどりのイベント					1	回	100				
	その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	117.6
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	予算は資材費と保険料である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	みどりのボランティアや区内造園事業者との協働の充実を図るとともに、イベント内容の充実を目指す。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初の普及啓発活動から、現在の区民・事業者の参加型のイベントとして育ってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	参加型のイベントとして、区民・みどりのボランティア杉並・事業者の関心は高い。				
	今後の予測	みどりに関する区民参加型の取り組みとして、今後も充実していく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民・事業者参加型のイベントとして定着しつつある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 一般の参加者の拡大のため、内容やPR活動を充実していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: イベントによっては参加者から実費を徴収する。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 企画や実施について区民参加を進めるとともに、参加者の大幅な増加を目指しコストの削減を行う。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: イベントの実施については、みどりのボランティアの各団体や区内造園業者各社による参加など、参加型のイベントとして定着しつつある。より多くの一般区民の参加が課題である。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内のみどりに関心のある区民や事業者が、区と協働で行うみどりの普及活動である。この活動を今後もコスト意識を持ちながら、みどりの祭りとして定着させる。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現在進めている区民と事業者と区の三者による取り組みをさらに充実するとともに、十分なPRが行える体制づくりをする。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのボランティア			整理番号	636		枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3593			
係名		みどりの計画係			上位施策名			No			
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出		12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) みどりの条例 第2条						
	区内でみどりに関するボランティア活動を希望する個人				(2) 杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ボランティア活動希望者を区が登録し、活動しやすい環境の整備や支援を行う。				(3)						
活動指標名(式) (1) 登録者数 (2) グループ数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が創る「みどりの都市」杉並の実践となる緑化活動を推進し、継続性のある独立したボランティア組織を育成する。							
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ボランティア活動の延べ人数 (2) ボランティア活動の件数											
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	80	110	150	126	150	150	84.0	
	活動指標(2)		団体	22	12	15	13	15	20	65.0	
	成果指標(1)		人	80	930	1,000	831	1,000			
	成果指標(2)		件	14	114	150	136	150			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	245	350	358	150	150	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.90	0.70	0.70	0.70	0.70			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,095	6,370	6,342	6,342			6,342
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	8,340	6,720	6,700	6,492	6,492			
	単位あたりコスト(-)÷		円	104,250	61,091	44,667	51,524	43,280			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	8,340	6,720	6,700	6,492	6,492				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		ボランティア保険、資材費					1	式	150		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	84.0	活動指標(2)の17年度達成率%	86.7	17年度予算執行率%	41.9
	資材費の節減					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ボランティア活動と活動の支援が徐々に機能し始め、区民主体による自主的かつ定期的な活動が行われている。こうした活動のなかから、地域のボランティア活動のリーダーが誕生しつつあり、ボランティア同士の輪が広がってきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域緑化へのボランティア施行は着実に広まっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりのボランティアの活動に対する区民の関心は高い。				
	今後の予測	区のみどりの施策の実施において、みどりのボランティアが担う役割は今後とも大きくなる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: みどりのボランティアは今後の区のみどり施策の大きな部分を担う。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: きめ細かい支援やみどりの講座などによる啓発活動を通して、みどりのボランティアの活動を活性化する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: ボランティア活動の環境づくりの支援である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 基本経費はボランティア保険の加入費のみである。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	みどりのボランティアはその多くが緑の施策に沿った区民活動である。その質の向上が課題である。				
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりは区民共有の財産であるという認識でみどりのボランティアと区は協働の活動をさらに進める。					
19年度方針	(2) 理由 きめ細やかな支援を継続し、ボランティア活動を杉並区の緑化活動の中心とし、「区民が創る『みどりの都市』杉並」の実現を目指す。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの相談所				整理番号	637		枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	626	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出		12
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 第6条					
	緑化情報を必要としている個人				(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				塚山公園管理棟に、みどりの相談コーナー、図書コーナー、講義室を備えた「みどりの相談所」を設置している。								
活動目標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
(1) 相談室実施日数				みどりに関する情報を区民に提供し、緑化知識の向上を図り、区民が創る「みどりの都市」杉並を目指す。								
(2) 相談講師数												
成果指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 相談件数累計				(1) 相談件数累計								
(2) 来所者数				(2) 来所者数								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	日	102	102	104	102	104					
	活動指標(2)	人	2	2	2	2	2					
	成果指標(1)	件	5,210	5,701	6,251	6,197	7,350					
	成果指標(2)	人	234	230	300	191	300					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,085	2,808	3,037	2,883	3,034	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0					
	(内)委託費	千円	1,460	1,379	1,380	1,380	1,363					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,799	910	906	906		906			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	4,884	3,718	3,943	3,789	3,940					
	単位あたりコスト(-)÷	円	47,882	36,451	37,913	37,147	37,885					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		0			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	4,884	3,718	3,943	3,789	3,940					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)						
	みどりの相談指導員謝礼			2	人	1,336						
	緑化見本園管理			1	式	1,380						
	その他 ()					167						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	98.1	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	94.9
		資材費の節減。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		みどりの相談所の活性化に向けて引き続き検討を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	緑化への関心が高まるなか、様々な緑化情報の提供要望が増加している。緑化相談は非常勤職員を含めて平日も相談業務を行っていたが現在は専門相談員による土日の実施である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通年の緑化相談やインターネットなどを利用した相談などの充実が望まれている。					
	今後の予測	みどりの相談や緑化情報の提供の充実が増加すると予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 地域緑化の推進のためには、身近なみどりの情報提供と普及啓発は重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: みどりの図書コーナーの維持管理や相談業務を、NPOなどとの協働で実施を検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民が区内の緑化を推進するための基本的な情報提供である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 相談業務の曜日の拡大や相談所配置の検討により、相談者数を増加することでコストを削減する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: みどりの相談所のあり方について、長期的な検討がなされていない。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 18年度に引き続きみどりの相談所の検討を行い、それを踏まえて改革案をつくる。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 単純な相談所の稼働日数の増加についてはコスト増になる恐れがある。		
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	塚山公園にあるみどりの相談所を区民が利用しやすい適切な場所の検討を含めて、みどりの相談所のあり方を考える。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの育成協定				整理番号	638		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	627	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 第23号				
	協定を締結する区内1000㎡以上の敷地を有する工場、住宅団地などの事業者、管理者						(2) みどりの条例施行規則 第16条				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				1000㎡以上の敷地を有するなどの管理者等とみどりの育成に関する協定 5年間 を締結し、敷地内緑化のための苗木の供給などを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 育成協定を結ぶことによって、工場や住宅団地等での緑化活動を進めやすくする。				
活動指標名(式)				(1) みどりの育成協定数 (2) 緑の育成協定面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 苗木供給本数 (2) みどりの育成協定苗木供給実績件数					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	6	4	10	3	10	10	30.0	
	活動指標(2)		㎡	21,800	14,678	10,000	11,311	10,000	10,000	113.1	
	成果指標(1)		本	145	73	900	73	900	900	8.1	
	成果指標(2)		件	4	3	10	3	10	10	30.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	277	215	831	376	831	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799	1,820	1,812	1,812			1,812
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	2,076	2,035	2,643	2,188	2,643			
	単位あたりコスト(-)÷		円	346,000	508,750	264,300	729,333	264,300			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,076	2,035	2,643	2,188	2,643				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		苗木供給					73	本	376		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	30.0	活動指標(2)の17年度達成率%	113.1	17年度予算執行率%	45.2
	1,000㎡以上の敷地の所有者・管理者との協定となるため、マンションの管理組合などが多くなる傾向にある。そのため、同意を得るために時間がかかる場合が多く、相談はあるが、協定に至らない例が多い。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	PRに努める。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	都市化に伴う敷地の細分化が進む一方、新築マンションなどでは当初から計画的な植栽が実施されるなど、対象となる施設が減少する傾向にある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	協定者からは、苗木の供給を受け緑化を進めることにより、住環境や景観の向上が図れるので、喜ばれている。				
	今後の予測	大規模開発などにより、新たな協定対象の出る可能性がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 対象地の多くは緑化余力があり、緑化用苗木の供給などを行うことで、地域のみどりの創出効果がある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 地域緑化、生活環境改善のための事業であることを積極的にPRし理解を得る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 協定に基づく敷地内緑化への支援が目的であるため、受益者負担の見直しの余地はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: みどりの保全、創出策として小規模事業であるが、現状で継続されるべきである。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 区で供給した苗木を協定者が自ら植えていることは、協働の範疇であると考えます。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 協定の趣旨を理解してもらえよう積極的にPRに努めるとともに、協定締結時には苗木の供給本数増を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 協定の申請があって始めて成立する事業なので、PRに努めるとともに、協定締結に積極的に対応する。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	協定内容や数は予算の範囲内で行う。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生けがき協定				整理番号	639		枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	628	
係名					みどりの計画係					上位施策名		No
予算事業名					みどりを育てる					コード		63900
					水辺とみどりの保全創出							12
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 第21条 第22条					
	生けがきを保全する目的の協定を締結した所有者				(2) みどりの条例施行規則 第13条 第14条 第22条							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区生けがき協定における補助金交付要綱							
敷地の道に面した部分(道路境界から1mの範囲)に造成された10m以上の生けがき、植え込み、フェンス緑化を保全・育成する協定を締結した場合、区はその協定を認定するとともに、維持管理費の一部を補助する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)				生けがきなどの所有者に長期にわたって良好な維持管理に努めてもらう。								
(1) 生けがき協定数(累計)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(2) 新規生けがき協定申し込み数				(1) 協定を締結している生けがきなどの延長								
				(2) 生けがき協定保全率(生けがき協定数 ÷ 生けがき協定累計数 × 100)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	件	14	22	24	24	0					
	活動指標(2)	件	5	8	2	2	0					
	成果指標(1)	m	112	295	315	185	0					
	成果指標(2)	%	93	96	96	96	0					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	107	230	146	15	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0					
	(内)委託費	千円	0	0	8	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,799	1,820	1,812	1,812		1,812			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	1,906	2,050	1,958	1,827	1,812					
	単位あたりコスト(-) ÷	円	136,143	93,182	81,583	76,125						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		0			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	1,906	2,050	1,958	1,827	1,812					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	生けがき協定補助金					2	件	15				
	その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	10.3
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画通りの協定が締結された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	18年7月に保護生けがき制度との統合を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	10m以上の生けがきを対象に造成費の割増助成をしていたが、平成12年度より対象の拡大とみどりの保全育成を目的とするため、管理費の一部補助の制度に変更した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生けがきの維持管理費には費用がかかるので、多少でも補助金をもらえるのは助かる。				
	今後の予測	平成12年度の制度変更により、協定数が増加するとともに、接道部における保全される緑が増加したと考える。制度としては、補助金制度の見直しのなかで、18年7月に保護生けがき制度との統合を進める。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区内の良好な生けがき等の創出・保全が図られる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 協定数の増加に比例して事業費も増加する。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 生けがき等の創出・保全を目的に協定を認定する制度であるため、見直しの余地はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 生けがき等の良好な維持管理には、補助金の数倍から数十倍のお金と労力がかかるので、生け垣等の保全のためにはコストを下げるべきではない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 事業の現状において、最少の費用で最大の効果を得ている事業といえるので、当面この形態で進める。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入				
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	みどりの条例改正の中で、保護生けがき制度への統合を行う。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金(積立金)				整理番号	640		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	629	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりの基金		コード	64650		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		14年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱 (3)				
	基金に寄付してくれる個人や団体										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
緑化活動を行う人材の育成を始めとするみどりの保全及び緑化の推進を図るための事業に要する経費の財源に充てるため、区民及び事業者と杉並区が協働して基金を募る。				5億円を目標に基金を積み立て、区民の緑化活動を推進する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 基金寄付件数				(1) 年間総基金寄付額							
(2) 継続基金寄付団体				(2) 継続基金寄付団体基金寄付額							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	件	24	22	50	11	50	50	22.0		
	活動指標(2)	件	3	4	10	4	10	10	40.0		
	成果指標(1)	千円	1,746	345	2,000	565	2,000	10,000	5.7		
	成果指標(2)	千円	79	220	500	175	500	500	35.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3	0	0	0	840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10		0.10		0.10		0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	899	910	906	906	906			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	902	910	906	906	1,746				
	単位あたりコスト(-)÷	円	37,583	41,364	18,120	82,364	34,920				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	902	910	906	906	1,746				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	みどりの基金の検討										
	みどりの基金のポスター・チラシによるPR										
	その他 ()								0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	22.0	活動指標(2)の17年度達成率%	40.0	17年度予算執行率%	
基金に対する区民の意識が深まっていない。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
みどりの基金(積立金)については、活性化の方策を検討していく。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基金の積み立ては前年と同程度だが、目標には達していない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりの募金との違いについてなど、みどりの基金の趣旨が分からないとの意見がある。				
	今後の予測	杉並区の緑化施策の充実のため、今後とも基金の充実を図る。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 現在は小規模であるが、みどりのボランティア活動を行っている区民にとっては活動の基盤となる。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 寄付者にとっても緑化活動に対して参加意識が醸成できるような使い方をして、広く区民にみどりの基金を認知してもらう。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 募金活動による歳入である。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)		理由または具体的内容: 基金の使い方や募金の仕方のPRを充実することで、積立金の増加によりコストを削減する。			
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		協働等による成果と課題: 基金の趣旨を理解していただいたうえで、広く個人や企業を含めて協働を実現し、基金の募金活動を活性化させる。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの基金の活性化を図るため、本年度も引き続きみどりの基金の検討を行う。 現在基金の用途について、人材育成などがあげられているが、これを具体的なみどりづくりまで広げて、区民の賛同を得られる活動を目指す。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 寄付行為の斡旋を区が行えないため、その受け皿となる組織づくりが課題である。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 18年度に基金のあり方の検討を行い、積立金の増加を目指す。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校接道部緑化				整理番号	641		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908	連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	2367	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例				
	区立学校						(2)				
	区立学校						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
区立学校において、道路の面した塀等を生けがき化したりフェンス緑化する。						過密化した地域において学校は防災上、まちなみ景観上、環境改善上重要なオープンスペースであることから、地域緑化の先導的役割を果たすとともに特に、移動性動物の移動ネットワークの拠点とする。					
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 接道部緑化整備延長(m)						(1) 接道部緑化率: 整備延長 ÷ 接道部緑化計画延長 × 100					
(2) ピオトープ設置校数						(2) ピオトープ設置率: 設置校数 ÷ 設置計画校数 × 100					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m	113	158	260	154	260	260	59.2	
	活動指標(2)			2	2						
	成果指標(1)		%	43	61	100	59	100	100	59.2	
	成果指標(2)			100	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,503	40,620	20,100	6,759	20,100	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.17	1.15	1.10	1.10	1.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,523	10,465	9,966	9,966			9,966
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	24,026	51,085	30,066	16,725	30,066			
	単位あたりコスト(-)÷		円	212,619	323,323	115,638	108,632	115,638			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	24,026	51,085	30,066	16,725	30,066				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			接道部緑化実施校(杉並第七小学校・堀之内小学校)				154	m	6,759		
			その他 ()						0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	59.2	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	33.6
学校の安全性等を配慮して行うことが肝要であるため、十分な調整が必要となる						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化については万年堀やブロック堀をとりはずして生けがきや植樹帯にする事業であったが、安全安心の危機管理意識の高まりから既存フェンスにつる植物を絡ませたりする手法が主流になってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	接道部緑化については堀をはずして生けがき化すると防犯上問題がある。				
	今後の予測	接道部緑化についてはフェンスをそのまま生かした緑化を中心に考える。堀などは危険を伴う場合があるので、フェンスなどに置き換えて設置していく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: みどりを増大させるための地域緑化の先導的な役割を果たすため大変重要である。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: みどりのベルトづくりにおいて、地域との一体的な景観づくりとの取り組みが必要である。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 区自らの施設を緑化するため			
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 施工する場所の条件によりコストが変わってくるが、近年は条件が厳しいところが多いためコストの下がる余地がない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題			
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクル				整理番号	642		枝番号				
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	631		
係名					みどりの事業係			上位施策名		No			
予算事業名					みどりを創る			コード	64100		水辺とみどりの保全創出		12
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例						
	公園、学校、道路、河川、公共施設						(2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				公園、学校をはじめとした公共施設の樹木維持管理により発生した剪定枝葉を可能な限りチップ化するなどして焼却せずに資源化する。また、学校や公園に落ち葉溜めを設置して落ち葉の堆肥化を進める。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 剪定枝や落ち葉をごみとして焼却せずに資源として活用する。						
活動指標名(式)				(1) 発生材の資源化量(t) (2) 落ち葉溜め設置校		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 資源化率 = (再資源化量 ÷ 発生材の総量) × 100 (2) (代) 落ち葉溜め設置累計							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		t	441	511	500	468	500	500	93.6			
	活動指標(2)		箇所	4	3	3	3	3	3	100.0			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0			
	成果指標(2)		箇所	15	18	21	21	24	33	63.6			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,890	1,377	1,075	1,440	1,575	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,476	6,552	6,523	6,523				6,523	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0	
	総事業費 + +		千円	8,366	7,929	7,598	7,963	8,098					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	18,971	15,517	15,196	17,015	16,196					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	8,366	7,929	7,598	7,963	8,098						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)				
			落葉溜め設置校(永福小学校・和田小学校・杉並第十小学校)				3	校	1,440				
			その他		()				0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	93.6	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	134.0
配当予算内で落ち葉溜め3基を設置することは無理であり、特に学校要望の多い2連型設置は難しい。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
落ち葉溜めの腐葉土利用が進み、土づくりの意識が高まってきた。みどりのリサイクルとしての位置づけが明確になってきており、一層の充実が求められている。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	植物系発生材の焼却処分の減少と自区内処理の増加。公園の落ち葉の区民配布などを実施してきた。平成16年度にみどりのリサイクル計画が決定し、民間のみどりのリサイクルを含めた総合的なみどりのリサイクルが策定された。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校に設置する際は、1基の希望よりも2基設置の希望が多い。				
	今後の予測	植物系発生材の再資源化を自区内で拡大するため、具体的なリサイクルプログラムを作成し、平成17年度より積極的に資源化を行い、18年度以降の設置場所の拡充に努める。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由: 植物系発生材の自区内処理と活用を拡大していく。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)		理由または具体的内容: 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。			
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)		理由または具体的内容: 防音・防臭・防虫等の設備が整った「みどりのリサイクルセンター」が必要となる。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)		理由または具体的内容: 公共施設においては、所管課のみどりのリサイクル費用を別途計上する必要がある。個人法人については、ゴミの有料化との兼ね合いを検討する必要がある。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 植物系発生材を焼却せずに自区内で積極的に資源化することでコストが増加する。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)		協働等による成果と課題: 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。自区内処理が実現できていない。個人・企業の力を借り、剪定枝葉・落ち葉を公共・民有を問わず回収し、堆肥化等処理後、元の場所へ戻す(元の場所で活用する)しくみづくりが円滑に運用できている状態が理想である。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度のみどりのリサイクル検討結果により、総合的にみどりのリサイクル、特に民間のみどりの資源化を図る。事業の推進には区民の理解と協力が不可欠であり、実態にあったプログラムの実施が必要である。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 剪定枝葉を粉碎する際の騒音、堆肥化となるまでの臭気・不快害虫の発生を解決することが必要である。					
	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
(2) 理由		当面、検討結果を事業推進に反映させるため、詳細な検討・調整が必要である。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苗木等の育成活用				整理番号	643		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908	連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	631(2)	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 (2) 杉並区緑化用苗木育成管理委託実施要綱 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
				(1) 苗木の配布数		(1) 配布苗木累計数に見る想定創出緑化面積					
				(2) 苗木育成による委託本数		(2) 苗木育成による農地保全面積					

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	本	5,636	4,397	3,000	5,590	3,000	3,000	186.3	
	活動指標(2)	本	19,700	14,000	10,500	13,500	10,500	10,500	128.6	
	成果指標(1)	m ²	16,363	16,758	17,028	16,229	17,028	17,028	95.3	
	成果指標(2)	m ²	332	442	330	330	330	330	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,547	2,520	1,890	1,890	1,620	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円	3,546	2,520	1,890	1,890	1,620			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,497	3,640	3,624	3,624			3,624
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	8,044	6,160	5,514	5,514	5,244			
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,427	1,401	1,838	986	1,748			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	8,044	6,160	5,514	5,514	5,244			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		苗木の育成活用		5,590	本
	その他	()			0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	186.3	活動指標(2)の17年度達成率%	128.6	17年度予算執行率%	100.0
		苗木配布についてはイベント配布に移行、緑化啓発の一環として対応している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		営農者への支援や農地保全の意味あいの強い事業であり、苗木活用という形ではなく、花材生産への取り組み検討を進める時期にきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	農地保全・営農者支援及び苗木の安定供給を図ることを目的にしている。しかし、現在では、公共施設の新規・改修整備が殆どなく、苗木の活用が滞っている。また、苗木無料配布への疑問も生じている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	苗木の無料配布を望む声はある。しかし、区が配布した苗木を寄付樹木として受け取って欲しいとの要望も出ている。(有料では苗木即売会と変わらない。現在のイベント参加記念としての苗木配布に対する要望はない。)					
	今後の予測	相続や開発などで農地が減少し、営農者の高齢化も進んでいる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 緑化の推進を目的にこれまで配布活動をしてきた。その結果として区内みどりを創ることにつながっている。農地の保全や営農者への支援の一環として一定の役割をはたしている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 苗木でなく花の育成に切り替え、「花咲かせ隊」の花壇管理として活用できないか検討していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 苗木の配布について検討の余地はあるが、有料化した場合、緑化啓発の意図との整合性や苗木生産者逼迫の危惧(価格競争の中に区が参入することになる)が懸念される。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 当該事業については、緑化における啓発事業の一環として取り組んでいるため					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 苗木育成を営農団体に委託している。 今後の具体的な取り組み: 営農者が花の生産を行い、「花咲かせ隊」が花壇管理で活用するなど、区が仲介・調整する 地産地消型の協働の姿が理想である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在事業として滞っている苗木配布・公共緑化のための苗木育成委託から、「花咲かせ隊」などのボランティアへの花材供給を検討し、地産地消型の協働スタイルを模索する。さらにPRの方法により営農者・農地への関心も高まり最終的に農地保全が図られるようなあり方を検討していく。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民意識(苗木は無料でもらえるもの)からの変革。営農者の高齢化。苗木生産者が花卉生産が可能かどうか。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	営農者への育成委託数の減少と花卉生産への移行の検討を行う。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設の緑化				整理番号	644		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908	連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	631(3)	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを創る			コード		64100	
					水辺とみどりの保全創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例				
	区立小・中学校及び区立施設						(2)				
	区立小・中学校及び区立施設						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区立小・中学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
						小・中学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行うことで景観の向上を図りまちに良好なみどりの空間を創出する。					
活動指標名(式)				(1) 剪定実施施設数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
								(1) 剪定総本数			
								(2)			
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		箇所	221	220	269	205	269	269	76.2	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		本	3,951	2,402	3,000	2,913	3,000	3,000	97.1	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	69,348	69,378	68,730	68,720	68,730	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	69,348	69,378	68,730	68,720	68,730			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	1.17	1.20	1.90	1.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,698	10,647	10,872	17,214			10,872
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	72,046	80,025	79,602	85,934	79,602			
	単位あたりコスト(-)÷		円	326,000	363,750	295,918	419,190	295,918			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	72,046	80,025	79,602	85,934	79,602				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		樹木管理委託					1	式	68,720		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	76.2	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	100.0
		剪定要望がなく、専門的に見てもその必要がない施設もあった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		樹木の生長や住民ニーズに答えていくためには施設管理者としての良好なみどりを育成していくという意識が重要であり、効果的な管理手法への検討が求められ、一層の連携が必要となってきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校をはじめとした公共のみどりは、区内緑化の先導的役割を担い、ますますまちの生活環境向上のため重要となってきている。一方維持管理対象樹木の生長の増加によりコストが上がってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校をはじめとした公共のみどりは、不安定な民間のみどりと異なり安定したみどりとしての意味合いが大きい。そのみどりを良好に管理することは安定したみどりを確固たるものとする上で重要である。樹木管理をしていく上で出てくる要望としては落ち葉、日照がある。					
	今後の予測	公共のみどりは地域のみどりの核としてますます重要となるので良好な管理に努める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 地域のみどりの核として公共施設のみどりは重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 住民のニーズが多様化し、樹木の生長も増加することから今後コストが増加する。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 公共施設であるため受益者負担の方式をとっていない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 良好なみどりの維持管理をするにはそれ相応の費用がかかる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 樹木の状態を見て剪定の是非、施工時期、手法について専門的に判断し、計画的に施工する。 今後の具体的な取り組み: 良好な維持管理をするには専門的な判断が必要であり、専門業者委託を継続するべきである。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域のみどりの核とするためには、施設管理者の良好なみどりを育成するという意識が重要となる。そのためには一層の連携を図り、よりきめ細やかな管理を行うことが必要である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 中長期的にはコスト増も考えられるが、次年度についてはそのままの経費で現状維持ができると思われる。しかしながら、地域のみどりの核として公共施設のみどりを維持していくためには効果的な管理手法の検討を忘れてはならない。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区営苗圃の維持管理				整理番号	645		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908	連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	632	
係名					みどり事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを守る			コード		64300	
					水辺とみどりの保全創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例				
	区有地2箇所(成田西・成田西第二)民有地2箇所(上高井戸、久我山)						(2)				
	区有地2箇所(成田西・成田西第二)民有地2箇所(上高井戸、久我山)						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				農地の保全、寄付樹木の受け入れ用地、区民配布や公共施設緑化用苗木育成の役割を持つ。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
						緑化推進を担う施設として運営してきたが、閉鎖的・費用対効果・他事業との整合性等の課題がある。開放的で有効活用された施設への変換を図っていく。					
活動指標名(式)				(1) 苗木の育成本数		(2) 苗圃面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
								(1) 緑化活用苗木本数			
								(2) (代)苗圃面積			
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	本	12,801	12,509	12,509	12,081	12,509	12,509	96.6		
	活動指標(2)	m ²	9,714	8,138	8,138	8,041	8,041	8,041	100.0		
	成果指標(1)	本	1,085	1,431	1,000	1,288	1,000	1,000	128.8		
	成果指標(2)	m ²	9,714	8,138	8,138	8,041	8,041	8,041	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,926	21,051	13,693	13,116	13,693	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円			1,890	1,890				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.43	0.40	0.44	0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,497	3,913	3,624	3,986		3,624	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +		千円	20,423	24,964	17,317	17,102	17,317			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,595	1,996	1,384	1,416	1,384			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	20,423	24,964	17,317	17,102	17,317				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		維持管理委託				8,041	m ²	12,826			
		光熱水費						189			
		その他 ()						101			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	96.6	活動指標(2)の17年度達成率%	98.8	17年度予算執行率%	95.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		苗圃の役割を明確にし、区民開放・参加型施設へと移行するため、ボランティア活動の場としての検討が必要である。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区営苗圃の開設当初は失業対策事業との関連があったが事業の廃止により苗圃運営が委託化された。また、区営苗圃の数は事業開始以降6箇所が増えたが、富士見丘・南荻窪苗圃の返還で現在4箇所となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民に開放された施設(例えば、体験学習の場)としてほしいとの要望あり。					
	今後の予測	閉鎖的苗圃運営から緑化技術の啓発拠点、みどりのボランティアの活動拠点、みどりのリサイクル運営拠点を視野に入れた区民開放・参加型施設へと移行する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 公共施設の新設が減少しているため、苗木の供給増加は望めない。また、土地貸借契約による苗圃は動向が不安定であり、農地保全の意味が薄らいできている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 4箇所の個々の苗圃に適した区民開放・参加型スタイルがあり、施設移行にあたっては現事業費ではまかなえない。しかし、施設移行後は事業費の縮減・成果向上は可能である。 理由または具体的内容: 苗圃という枠にとらわれず、区民開放・参加型の施設への移行検討が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 民有地の苗圃は無償借地であるため、受益者負担の見直しの考えはない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 現状維持管理では、専門性の高い作業についてはコストを下げられないが低いものへのボランティア参加は可能である。区民開放・参加型施設となれば、コストの縮減は可能である。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 専門的な作業が多く植物の状態によって作業工程が異なるため専門知識が必要となる。今後の具体的な取り組み: 区民開放・参加型の施設となり、ボランティア等による施設運営・維持管理がなされている状態が理想である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 苗木購入と苗圃で苗木を生産するコストを比較すると苗木を生産して緑化することが必ずしも安価ではない。それよりは苗圃という形にこだわらない区民協働の活動拠点として、または区民に提供できる緑地として施設を移行させる。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 苗木の維持管理コストが年々かかるので、現在苗圃にある苗木を早期に公共施設の緑化材料として提供する。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 19年度は区民開放・参加型施設へと移行するための検討が必要となる。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化の助成				整理番号	646		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908	連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	633	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					都市整備部公園緑地課		コード	64100		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例				
	接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする個人の方 屋上・壁面緑化助成は、屋上・壁面を緑化する建物の所有者または						(2) 杉並区接道緑化助成要綱				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする場合、既存の塀の撤去費用と生けがき等を造る費用の一部を助成する。屋上・壁面緑化助成は、建物の屋上またはベランダの全部または一部に緑化区画を設けて植栽したもの、建築物の壁面に原則として補助器具等（ネットなど）を設置し、						(3) 杉並区屋上・壁面緑化助成金交付要綱				
活動目標名(式)						事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
(1) 接道部緑化助成延長(各年度700m) (2) 屋上・壁面緑化助成面積(各年度575㎡)						この助成事業によって、道路沿いの生けがき化や屋上・壁面緑化を行いやすくする。					
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
						(1) 接道部緑化助成延長累計					
						(2) 屋上・壁面緑化助成面積累計					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	m	390	255	700	120	700	700	17.2		
	活動指標(2)	㎡	816	281	575	256	575	575	44.6		
	成果指標(1)	m	3,838	4,093	4,793	4,202	4,902	7,702	54.6		
	成果指標(2)	㎡	892.80	1,173.70	1,748.70	1,430	2,005	4,305	33.2		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,025	6,922	14,713	4,894	14,713	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.67	0.60	0.51	0.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,497	6,097	5,436	4,621		5,436	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +		千円	18,522	13,019	20,149	9,515	20,149			
	単位あたりコスト(-)÷		円	47,481	50,965	28,784	79,226	28,784			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	18,522	13,019	20,149	9,515	20,149				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		生けがき等新設				104	m	565			
		既存塀撤去				28	m	127			
		生けがき改修				16	m	71			
		屋上・壁面				256	㎡	4,126			
		その他 ()						5			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	17.2	活動指標(2)の17年度達成率%	44.6	17年度予算執行率%	33.3
		問い合わせは、多数あったが実行にいたるところがなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		緑化の助成については、緑化計画と一体で取り組んでおり、利用者の増はないものの、問い合わせの件数は増えている。今後のPR等の拡大が重要となる。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度に生けがきのみの助成制度から開始し、平成14年10月1日より屋上・壁面等対象を拡大している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ヒートアイランド現象等により、緑化に対する関心が高まり、問い合わせの件数が増加している。					
	今後の予測	防災、緑視景観、生活環境の改善等の観点から、必要性の認識が高まってくると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: まちのみどりが減少する中で道路に接した敷地を緑化することは緑視率の向上につながり、貢献度は大きい。また、屋上・壁面緑化はヒートアイランド現象を緩和する効果や、地球温暖化を防止する効果がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 一定の基準に基づく助成制度であるので、行政が実施するべき事業である。 理由または具体的内容: 建築相談会のような、区民にみえるPRを、					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 緑被率を増加させるためには、接道緑化助成、屋上・壁面緑化助成を推進していく必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 屋上壁面緑化や接道部緑化については初期設置経費がかかるため、普及させるためには助成を推進していく必要がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 協働の意識がほとんどなく、相手を絞り込めない。 区も民間も、協働という考え方に付いての意識が未成熟であり、早急には行なえない。					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 接道部、屋上・壁面緑化助成のPRに一層努めていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保護樹木・保護樹林・保護生けがき・貴重木の補助			整理番号	647		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		
係名		みどりの事業係			上位施策名				No	
予算事業名		みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) みどりの条例					
	基準以上の樹木、樹林、生けがきを所有する個人・法人				(2) みどりの条例施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区貴重木保全事業実施要綱					
区内に現存する一定基準以上の樹木等を所有者の同意を得て区が保護指定し、維持管理に要する費用の一部を補助する。貴重木については所有者と一定期間(10年以上)の保全協定を結び、費用の一部を補助するほか、必要に応じて樹木医の派遣や支障となる枝の剪定も行う。なお、貴重木は平成				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 保護樹木の本数				(1) 保護樹木継続率: 今年度樹木本数 ÷ 前年度樹木本数 * 100						
(2) 保護樹林の面積				(2) 保護樹林継続率: 今年度㎡数 ÷ 前年度㎡数 * 100						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	本	1,686	1,673	1,900	1,672	1,900	1,900	88.0	
	活動指標(2)	㎡	617,227.83	614,646.05	620,000.00	609,900	610,000	610,000	100.0	
	成果指標(1)	%	98.3	100.1	100.0	100	100.0	100	99.9	
	成果指標(2)	%	98.7	98.6	100.0	96	100.0	100	95.5	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	28,211	28,696	39,328	35,920	49,430	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円	728	2,589	2,801	1,508	4,534			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.30	1.30	1.30	1.80	2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,692	11,830	11,778	16,308			18,120
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	39,903	40,526	51,106	52,228	67,550			
	単位あたりコスト(-)÷	円	23,667	24,224	26,898	31,237	35,553			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	39,903	40,526	51,106	52,228	67,550			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)				
	保護樹木			1,683	本	9,074				
	保護樹林			609,900	㎡	18,529				
	保護生けがき			5,647	m	3,617				
	貴重木			47	本	3,590				
その他 (保険料、事務費)					1,110					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	88.0	活動指標(2)の17年度達成率%	98.4	17年度予算執行率%	91.3
		建築計画によりやむを得ず樹木が伐採されたため、保護樹林面積が減少し補助金交付対象が減少した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		制度の理解と協力を得るため、広報によるPRを行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護樹木・保護樹林については、昭和48年の事業開始後増加していたが、相続等に伴い近年減少傾向が見られる。保護生けがきは、昭和50年に1,802mから、平成15年には5,928.9mに増加している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保護指定樹木に関わる日照問題、落ち葉の問題による近隣とのトラブルは少なくない。また、所有者の高齢化や管理費の問題で、個人で維持することが困難となってきており、行政や地域の積極的な支援を期待している。					
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などによって開発や宅地の細分化が進み、保護指定樹木の保全は困難になる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:所有者の同意を得て保護指定を行うものであり、所有者の事情で解除できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:土地の細分化にともない、みどりの維持が建築面積の関係で困難になって来ている。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:近隣関係の向上を図るため、周囲の住宅の屋根清掃とか雨どいカバーの設置などの検討をする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:大木ほど維持管理費用がかかるため難しい					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:大木ほど維持管理費用がかかるため難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 根拠法令等の見直しを行うことにより、継続的に樹木の状況を把握し、必要な指導を行うことにより、保護樹木等の基準の維持を計る。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 所有者の負担が増大するなかで、行政としての役割を明確化することが困難である。	
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 樹木の解除は、新たな樹林を指定することは、土地の動向からも難しいため保全についての取り組みが課題となる。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化指導			整理番号	648		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		
係名		みどりの事業係			上位施策名				No	
予算事業名		みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 (2) 杉並区公共施設緑化推進要綱 (3) 寄付樹木取扱要領					
	一定規模以上の建築行為を行う個人、事業者。									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
区内のみどりを守り増やすため、200㎡以上の敷地で建築行為を行うものに対し、緑化計画書の提出を求め、用途地域に応じた緑化指導を行う。また、建築計画等により不要になった樹木を寄付したいとの申し出があった場合、基準を満たしたものであり受け取ることが可能であれば、樹木を受領し公共施設		建築行為の際に、みどりの重要性を認識してもらい、敷地内の緑化推進をはかっていく。また、寄付樹木制度を活用することにより、既存樹木を伐採せずを守る。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 緑化計画書受理件数		(1) 緑化された率 (緑地面積 ÷ 敷地面積 × 100) 当 該年度完了届分で積算								
(2) 寄付樹木受領本数		(2) 計画実行率 (受領本数 ÷ 受領計画本数 × 100)								
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
	活動指標(1)	件	628	605	600	660	600	600	110.0	
	活動指標(2)	本	195	202	100	76	100	100	76.0	
	成果指標(1)	%	20.20	17.69	20.00	15	20.00	20	74.1	
成果指標(2)	%	195	202	100	76	100	100	76.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,957	2,810	2,824	2,792	2,840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 緑地面積 21352.33㎡ 敷地面積 144124.33㎡	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円	2,697	2,697	2,700	2,698	2,700		
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.71	2.68	2.60	2.80	2.60		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	24,374	24,388	23,556	25,368	23,556		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	27,331	27,198	26,380	28,160	26,396		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	43,521	44,955	43,967	42,667	43,993		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	27,331	27,198	26,380	28,160	26,396			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容			規模	単位	事業費(千円)			
		寄付樹木			1	式	2,700			
		その他 (事務費)					92			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	110.0	活動指標(2)の17年度達成率%	76.0	17年度予算執行率%	98.9
		寄付樹木制度の執行状況は高く、既存樹木の保全に重要な役割を果たしている。しかし、引き取り先が公共施設のみで対応しているため、引き取り量が限られ、申し出量との関係にズレが生じており、制度の検討が必要になってきている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		緑化指導については広報PRと業者指導を充実した結果、緑化相談件数が増え、業者だけでなく施主の協力を得られるようになってきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開発による宅地化と敷地の細分化が進んでいる。既存樹木の伐採が目立つ					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	大規模開発に伴う樹木の伐採など、みどりの減少に心配する声が挙がっており、寄付樹木の扱いを誰でも参加できるようにできないか。区の積極的な緑化指導を求める住民要望も多く聞かれる。					
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などにより宅地の細分化や狭小化が進行し、緑地確保のため緑化指導の重要性が一層高まると予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 緑化指導を行うことにより、みどりの減少に歯止めをかけ、一定程度のみどりの保全・創出が可能になる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緑化基準、緑地保全の必要性が理解されれば、企業等自主的な管理が可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緑化はすべて区民、事業者の負担で行われている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の経費で事務を行っている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 緑化相談を一層充実し、緑化計画と共に、植木の手入れから庭造りまで、緑化全般を相談できる緑化相談コーナーを定期的に開設し区民にみどりの大切さをPRし緑化基準の見直しも行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりの条例の見直しが進められているため、見直し後主旨に適合した基準を作る。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	緑化相談を一層充実し、緑化計画と共に、植木の手入れから庭造りまで、緑化全般を相談できる緑化相談コーナーを定期的に開設し区民にみどりの大切さをPRし緑化基準の見直しも行う。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生き物生息場所の保全・創出				整理番号	649		枝番号				
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	636		
係名					みどりの事業係			上位施策名		No			
予算事業名					みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例						
	区立小学校等						(2)						
							(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
杉並区の貴重な植物を保全・創出するため、公共施設等の敷地の一角に貴重種の生息場所を設ける。						貴重な植物等を区民に周知し、保全に向けて意識を高揚する。							
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 保全箇所数(累計)						(1) 保全できた箇所数 ÷ 保全予定箇所数 × 100							
(2) 創出箇所数						(2) 創出できた箇所数 ÷ 創出予定箇所数 × 100							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%	
							計画	実績	計画	22年度			
指標	活動指標(1)		箇所	1		1		2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)		箇所	2		2		2	2	2	2	100.0	
	成果指標(1)		%	50		50		100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	29		43		57	57	57	86	66.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	676		345		2,330	524	1,330	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円										
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.15		0.15		0.15		0.15			1.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,349		1,365		1,359	1,359			10,872
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0			0
	総事業費 + +		千円	2,025		1,710		3,689	1,883	12,202			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	2,025,000		1,709,900		1,844,500	941,500	6,101,000			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,025		1,710		3,689	1,883	12,202				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			生き物生息場所の創出(杉並第七小学校・和田小学校)					2	校	524			
			その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	22.5
貴重植物の選定はむずかしいが、わずかな予算でもボランティア参加による効果は大きい。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	貴重植物を整備していくと共に、従来の自生品種の選定には、地域特性に合った品種の確保が求められ、他地域との連携が必要となる。互いの地域へのを考え、自地域だけでなく他地域の自然環境に配慮した品種選定が求められている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	14年度は地域区民センターで創出整備を行い、整備後の管理について区民と協定を結んだ。15・16・17年度は学習教材としての活用・保全が図られる小学校で創出整備を行った。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校ビオトープ設置後の維持管理に必要な資材あるいは人材(指導等の講師)が求められている。さらに、活動報告を行う場も求められている。				
	今後の予測	みどりを取り巻く自然環境は悪化すると予想され、杉並区の地域特性に合った従来より自生していた貴重種(レッドデータ)を保全することは生態系の観点からも重要な意味をもつようになる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 失われつつある貴重な生き物を保全することができる。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 専門知識のあるボランティアに依頼して整備段階から参加していただく。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は		理由または具体的内容:			
	(4) コストを下げる余地はあるか		理由または具体的内容:			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		協働等による成果と課題 貴重植物の維持管理においてボランティアと協定を結び保全に努めている。貴重植物の維持管理においてボランティアと協定を結び保全に努めている。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「杉並区自然環境調査報告書」をもとに、環境課との連携を図り、区の財産としての貴重種の選別を行う。杉並らしい面影を再現できる事業でもあるので、計画段階では環境課・地域課・教育委員会、整備維持管理段階では土木事務所等とのタイアップした事業展開を検討していく。また、積極的に区民や学校の参加を促していく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 区内に残された未利用のがけ地の保全を図り、貴重種の保全に取り組む。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		市民緑地の設置及び管理				整理番号	650		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	637		
係名					みどりの事業係					上位施策名		No	
予算事業名					みどりを守る					コード		64300	
										水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 都市緑地法						
	300㎡以上の良好な樹林地等の所有者						(2) みどりの条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				良好な生活環境の形成を図るため、区内の樹林地を区が長期間借上げ、区民が利用する市民緑地として管理し公開する。		(3) 杉並区市民緑地「いいいの木」の設置及び管理に関する要綱						
活動目標名(式)				(1) 市民緑地面積		(2) 市民緑地設置数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
								樹林地を区に貸すことによって、所有者が固定資産税の免除などの税制措置を受けることができ、その樹林地を保全しやすくなる。					
								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
								(1) 樹林地の保全率(市民緑地管理面積 ÷ 市民緑地面積 × 100)					
								(2)					

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	㎡	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	100.0	
	活動指標(2)	箇所	2	2	2	2	2	100.0	
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	220	216	2,386	943	216	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円	161	157	157	157	157		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10	0.10	0.50	0.10	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	899	910	4,530	906		906
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	1,119	1,126	6,916	1,849	1,122		
	単位あたりコスト(-)÷	円	530	533	3,275	875	531		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	1,119	1,126	6,916	1,849	1,122		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	光熱水費		1	所	11
	修繕費		1	所	775
	清掃委託		2	所	157
	その他 ()				0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	39.5
		市民緑地2箇所の維持管理を実施。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度は安全対策のため、「清水いこいの森」における大谷石積改修工事を完了し、工事費用は所有者の50%負担で実施した。既存施設に関して、所有者と十分な打ち合わせを行い、改善を進めていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人所有の樹林で最も面積の大きいものは屋敷林であるが、マンションや駐車場などの建設にともない伐採され、面積が減少するとともに狭小化が進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、2箇所の市民緑地(いこいの森)が公開され区民利用がされているが、犬の放し飼いや糞の始末などの苦情が寄せられている。また、夜間の防犯上の問題についても不安との声が出ている。					
	今後の予測	今後も、開発や宅地化の進行により、昔ながらの屋敷林は減少していくと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 貴重な樹林を守るとともに、区民がそれを利用し豊かな区民生活ができるようになる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 地域に根ざした緑地として認められるようになってきている。 理由または具体的内容: 専門的な部分を除く維持管理について地域住民(ボランティア等)などと連携を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 市民緑地は無償借地であり、区民に公開する制度であるため、見直しの考えはない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 維持管理経費も最小限に管理しているが、地域住民(ボランティア等)の清掃・樹木維持管理等への協力により現コストの削減は可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 市民緑地は所有者との契約により区民に公開されている。維持管理については業者委託、資材提供等で行われている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の貴重な樹林地については、所有者の理解と協力が不可欠である。平成16年「都市緑地法」へと改正し、市民緑地の対象が樹林地ばかりでなく、草地等へと拡大された。緑地保全を担う制度であるので、対象地の把握と制度の積極的なPRに努める必要がある。また、管理面では住民との協働を模索する必要がある。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 市民緑地制度について積極的にPRするとともに、開発や宅地化を防止するため、将来的には区が買い取り公園緑地化していくことも検討する必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 市民緑地となりうる対象地の把握と制度の積極的なPRを行っていく。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの調査・研究				整理番号	651		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	638	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		16 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動内容 みどりに関する計画やみどりの施策のあり方について学識経験者や区民とともに検討する。						
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が創る「みどりの都市」杉並を効果的に具体化するための方策を検討する。						
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		ヶ	0	1	3	4	3			
	活動指標(2)		回	0	5	15	10	15			
	成果指標(1)			0							
	成果指標(2)			0							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	515	317	123	269	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	1.66	1.50	1.70	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	15,106	13,590	15,402			4,530
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	0	15,621	13,907	15,525	4,799			
	単位あたりコスト(-)÷		円		15,621,000	4,635,667	3,881,250	1,599,667			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	15,621	13,907	15,525	4,799				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		東京みどりの研究会					4	回	97		
		みどりの基金の検討					3	回	26		
		みどりの相談所の検討					3	回	0		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	133.3	活動指標(2)の17年度達成率%	66.7	17年度予算執行率%	38.8
支出は、図書類と消耗品である。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
18年度は、屋敷林保全検討会・東京みどりの研究会・緑化基本調査の検討を行う。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	みどりの調査・研究は、多様化複雑化する区民のみどりに対する要望と、都市におけるみどりの保全を進めるために今後とも重要性は増大する。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個々のみどりの施策に対して多くの要望が寄せられている。				
	今後の予測	区の緑化施策に対する区民の要望は、今後も多様化し増加することが予想される。区はこれらの要望にきめ細かく答えることが求められる。みどりの調査研究の必要性は増加する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を実現するための基礎的な事業である。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容)		理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 検討事項によっては、ボランティアなどの参画により費用を最低限に抑えながら高い効果を得られる。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 検討組織などである。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 内部検討組織である。			
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		協働等による成果と課題: 緑化施策の計画立案、実施、評価について区民の参画できる制度をつくる。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの実態調査は5年ごとに実施しているが、緑化施策の基礎となる調査であり、平成19年度の実施を予定している。その他の課題ごとの調査研究については、最小限の経費で効果的に進める。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 屋敷林の保全などみどりの事業については、短期的には解決できない課題も多い。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 屋敷林の保全の問題など継続的に取り組む課題がある。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのベルトづくり			整理番号	652		枝番号																																																
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3593																																																
係名		みどりの計画係			上位施策名			No																																																
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出																																																	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 17年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業																																																			
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例第16条 (2) 杉並区みどりのベルトづくり計画 (3)																																																			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ・みどりのベルトづくり計画の推進 ・シンポジウム ・高円寺駅北口広場・南口広場と都市計画道路227号線の整備の調査検討				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) みどりの豊かさを実感できる環境と調和の取れたまちづくりを進めるため、民有・公共のみどりをネットワークで結ぶ。																																																			
	活動指標名(式) (1) シンポジウム開催数 (2) モデル地区の指定				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) シンポジウム参加者数 (2) モデル地区での計画策定																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">15年度実績</th> <th rowspan="2">16年度実績</th> <th colspan="2">17年度</th> <th rowspan="2">18年度計画</th> <th rowspan="2">目標値22年度</th> <th rowspan="2">目標値に対する17年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標(1)</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>地区</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>51</td> <td>120</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td>地区</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>										区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	計画	実績	活動指標(1)	回			1	1	1			活動指標(2)	地区			0	0	1	2	0.0	成果指標(1)	人			100	51	120			成果指標(2)	地区			0	0	1	2
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%																																																
				計画	実績																																																			
活動指標(1)	回			1	1	1																																																		
活動指標(2)	地区			0	0	1	2	0.0																																																
成果指標(1)	人			100	51	120																																																		
成果指標(2)	地区			0	0	1	2	0.0																																																
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,229	22	2,010	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)																																															
	(内)投資的経費等		千円			0	0	0																																																
	(内)委託費		千円			0	0	1,500																																																
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.32	0.32	0.95																																																
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,899	2,899		8,607																																														
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0																																														
	総事業費 + +		千円	0	0	4,128	2,921	10,617																																																
	単位あたりコスト(-)÷		円			4,128,000	2,921,000	10,617,000																																																
	財源	受益者負担分		千円			0	0		0																																														
		国・都等からの支出金		千円			0	0		0																																														
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0																																																	
差引:一般財源 -		千円	0	0	4,128	2,921	10,617																																																	
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0																																																	
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)																																															
		シンポジウムの開催					1	回	22																																															
		その他 ()							0																																															

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	1.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		シンポジウムはみどりのボランティア杉並の全体会と同時開催したため講師謝礼のみの支出になった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成17年1月「みどりのベルトづくり計画」を策定したが平成16年8月の「都市のみどりを守る」緊急フォーラムの開催などみどりの保全に関する関心は増大している。一方、都市におけるみどりは維持管理を含めて区民から様々な要望を抱えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりのベルトづくりの重要な要素であるみどりの拠点としての屋敷林や保護樹林が落ち葉や日照の問題など相隣関係などで所有者が維持で困難になっている。					
	今後の予測	みどりの基本計画の「みどり39プラン」に基づく事業を確実に進めるとともに、民有のみどりの維持と区民参加によるみどりづくりが拡大する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 公共のみどりと民有のみどりのネットワークを考えてみどりづくりを進めることで「区民が創るみどりの都市杉並」を実現する					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 都市のみどりを維持する為新たな助成制度や新たなみどりづくりのための事業の検討が必要である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: みどりの恩恵は区民等しく受けているという考え方が今後のみどりづくりに求められる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: みどりを維持する為には所有者や近隣住民の理解と協力が欠かせない。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改訂みどりの基本計画では緑被率の目標を従来の20%から25%に引き上げた。みどりの基本計画による平成30年までの緑被率25%を確保する為には公共のみどりの拡充とともに民有のみどりの維持拡充が必要である。都市化した杉並区において屋敷林などを保全してみどりのベルトづくりを進めるためには、樹木所有者や関係者に対するみどりの保全の新たな対策が必要である。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりのベルトづくりにかかる支援制度の新設についての合意形成について。	
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 民有のみどりの保全に関する支援を行なう。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクルの普及啓発				整理番号	653		枝番号	
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		
係名		みどりの計画係				上位施策名	No			
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 17年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区みどりのリサイクル計画 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ・みどりのリサイクル区民活動 ・普及啓発用パンフレットの製作と配布				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 日常のみどりの維持管理から発生する落ち葉や剪定枝などの植物発生材を、環境に負荷を与える燃えるゴミとして処分するのではなく、可能な限り資源として利用し、自然循環させることによって持続可能な社会の実現の一翼を担うため区民に対する普及啓発活動である。					
	活動指標名(式) (1) みどりの講座によるリサイクル関連講座数 (2) みどりのリサイクルイベント				成果指標名(式) (代)= 適当な指標がない場合の代替指標 (1) みどりのポフンティア杉並の活動による落ち葉ための設置数 (2) みどりのリサイクルイベント参加者					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		回		1	1	3			
	活動指標(2)		回		1	0	1			
	成果指標(1)		箇所			10	5	10		
	成果指標(2)		人			100	0	1,000		
総事業費・コスト把握	事業費		千円			902	0	461	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円			0	0	0		
	(内)委託費		千円			0	0	0		
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.30	0.30	0.40		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,718	2,718		3,624
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	0	0	3,620	2,718	4,085		
	単位あたりコスト(-)÷		円			3,620,000	2,718,000	1,361,667		
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0		0
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0		0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,620	2,718	4,085			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)	
			・みどりのイベントなどによる普及啓発活動				3	回	0	
			・みどりのリサイクル関連の講座の開催				1	回	(みどりの講座に計上)	
			・みどりのサポーター制度の設置へ向けたイベントの準備				3	回	0	
			その他 ()						0	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	0.0	17年度予算執行率%	0.0
みどりのサポーター制度の創設などみどりのリサイクルを区民参加で取り組む為の準備不足。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	みどりの発生材の増加は清掃事業による収集、運搬や償却に関しても大きく影響をい与えている。一方屋敷林などの所有者や近隣住民は落ち葉の問題などで地域でのトラブルに悩まされている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	屋敷林などみどりの所有者とその隣接住民との日照や落ち葉の処理に関する区民要望は増加している。				
	今後の予測	杉並区みどりの条例ではみどりの適正管理を努めなければならないとしている。このためみどりの発生材の処理について要望は飛躍的に増加すると考えられる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 環境に負荷をかけない循環型社会の形成に向けた区民参加を醸成する取組である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: みどりのリサイクルを進めるためには普及啓発とともに区民への支援が必要である。 理由または具体的内容: みどりのリサイクルが区民主体で地域に貢献するための支援が必要である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 現在民有のみどりの維持管理は基本的には区民負担で行なっている。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区民が支えきれない樹木について支援が必要である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 普及啓発などに対してみどりのボランティア杉並の協力で実施している。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区みどりの条例では樹木の適正管理を努めることとしている。これに併せて個人での管理を超えた樹木に対する支援を検討する必要がある。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 屋敷林の維持管理などに関して所有者を含めた地域の合意を得るのが難しい。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	樹木の適正管理に関する支援の検討。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校のエコアップ				整理番号	768		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局学校運営課		コード	600201	連絡先電話番号	1642		昨年度整理番号		
係名 経理係					上位施策名			No			
予算事業名 学校緑化推進					コード	72560		水辺とみどりの保全創出			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 学校教育法第5条						
	区立小・中学校				(2) 地方自治法第180条の2						
	区立小・中学校				(3) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第7項						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
区立小・中学校の校庭、屋上、壁面の緑化及びビオトープの設置を推進していく。				学校教育施設の緑化を推進し、みどりの保護・育成を図るとともに自然環境への負荷を軽減したエコスクールの整備を行い、学校を環境教育の拠点とする。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 累計校舎屋上緑化実施校数				(1) 累計校舎屋上緑化面積							
(2) 累計校舎壁面緑化実施校数				(2) 累計校舎壁面緑化面積							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標		活動指標(1)	校	5	8	11	11	16	36	30.6	
		活動指標(2)	校	0	0	1	1	6	26	3.8	
		成果指標(1)	m ²	1,995	3,021	4,034	4,034	5,984	13,784	29.3	
		成果指標(2)	m ²	0	0	190	190	1,090	4,690	4.1	
総事業費・コスト把握		事業費	千円	53,445	47,492	122,000	112,826	188,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 計画上の校舎屋上緑化面積を実績数値に基づき、1校あたり390m ² とする。 計画上の校舎壁面緑化面積を実績数値に基づき、1校あたり180m ² とする。		
		(内)投資的経費等	千円	53,445	47,492	122,000	112,826	188,000			
		(内)委託費	千円	53,445	47,492	122,000	112,826	188,000			
		職員数(常勤 非常勤)	人	0.80	0.80	1.10	1.10	1.10			
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,195	7,280	9,966	9,966	9,966		
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
		総事業費 + +		千円	60,640	54,772	131,966	122,792	197,966		
		単位あたりコスト(-)÷		円	1,439,000	910,000	906,000	906,000	622,875		
		財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
			国・都等からの支出金	千円	9,336	0	89,000	80,861	0		
特定財源計 +	千円		9,336	0	89,000	80,861	0				
差引:一般財源 -	千円		51,304	54,772	42,966	41,931	197,966				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		校庭緑地化(2校)					3,667	m ²	75,452		
		校舎屋上緑化(3校)					1,013	m ²	28,988		
		ビオトープ(2校)					966	m ²	5,386		
		校舎壁面緑化(1校)					190	m ²	3,000		
その他		()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	92.5
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	特にない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	校庭緑地化については17年度に公園緑地課あて執行委任を行い、芝生の種を蒔く方法から、工期短縮に対応したロール芝の導入に変化した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	校庭緑地化については、芝生の種を蒔く方法から、工期短縮に対応したロール芝を導入することとなった。屋上緑化についても、芝を維持しやすい土壌・給水方式を採用している。また、17年度より、壁面緑化事業を開始した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特に、校庭緑地化については、「今まで校庭で遊びたがらなかった子どもも、芝生になると校庭に出るようになった。」という声を聞く。一方で、施工後のメンテナンスの必要性が求められている。また、芝生の施工工事・養生に伴う校庭の閉鎖に対し、校庭の代替地の確保を希望する声も多い。				
	今後の予測	屋上・校庭・壁面緑化について、工事施工はもとより、次年度以降のメンテナンスの必要性が重要となってくると考えられる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 緑を増大させるための地域緑化の先導的な役割を果たすため、大変重要である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 今後、屋上・校庭・壁面を同一校で実施することにより、一層の自然環境への負担軽減が期待できる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区自らの施設を緑化するため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 施工する場所の条件によりコストが変わってくるが、近年は条件が厳しいところが多いため、コストの下がる余地が少ない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 緑化整備については、専門業者の施工・委託を行っており、一定の成果を上げている。また、維持管理やピオトープの関わり合い方については、地域・保護者等による維持管理団体も今後増えるべきである。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 19年度以降の予算方針により、改良された芝生の使用や、翌年度以降のメンテナンスの実施により、学校ごとの事情に即した緑化事業を進めていく。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改革案の実施により、コストの増加が認められる。ただし、それに伴い、効果の高い安定したエコスクールの整備が可能となる。					
	(1) 19年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 緑化の施工を行う際に、ある程度のメンテナンス費用も合算して発注することも検討中のため、コストの上昇が考えられる。					